

15.01.12 倉岳山・高畑山 OB 合同山行報告書

M2 堀江 栄之

①参加メンバー

S53 卒 本間先生、H13 卒 高橋先生、H24 卒 仙田先生、M3 田中・久本・天野・西村

M2 伊賀上・塙・堀江 M0 中武 C1 上村（計 12 名）

②コースタイム

新宿駅 7:35～8:45 梁川駅 9:00～9:25 唐栗橋～10:40 立野峠～11:05 倉岳山 12:30～12:50 天神山～13:25 高畑山 14:00～14:50 石仏～16:45 鳥沢駅

③本文

昨年度に引き続き今年度も OB 合同山行を実施した。天候は快晴。今回は新年の富士見を目的に、山梨県の倉岳山・高畑山を目指した。OB の先生方が 3 名、学生が 9 名と総勢 12 名が集まり、昨年度と同様、大パーティーでの山行となった。

梁川駅から舗道を 15 分くらい歩くと案内看板と共に登山口が現れた。ここでコンクリートの道とは別れをつげ、登山らしい道を歩むことになった。

はじめは小川に沿いながらひたすら林道を登っていった。日光は木々によって完全に遮られたが、上り坂で暑くなった体を冷やすにはかえってちょうど良かった。傾斜もほどほどで登りやすく、山行中の会話も弾み、皆楽しみながら登ることができた。ただ、計 12 名の大パーティーのため全員を入れて写真を撮るのは一苦勞であった。

立野峠からは稜線に入り富士山も見えたが、いかんせん木立が邪魔でその雄姿を完全には拝むことができない。早く山頂に到達して枝に遮られることなく富士を眺めた

と思った。ここから少し傾斜がきつくな



ったが、皆そんなものは関係なしと言わんばかりにどんどん登っていく。倉岳山の山頂には予定より 30 分も早く到着した。

山頂では視界を遮る枝はなくなり、晴天の下、白く輝く富士の眺望を楽しんだ。各々富士を眺め、写真を撮り終えると、次に富士見と共に皆が楽しみにしていた豚汁づくりが始まった。前回の OB 山行も山頂で豚汁を作ったのだが、今回は女性陣が増えたためか、前回よりも手際が良かったように思える。味についても学生はもちろん、OB の先生方にも満足していただけたようでした。昼食の後片付けを終えると、山頂出発前に富士を背景に集合写真を撮った。

倉岳山山頂には 1 時間半と長居してしまったため、天神山、高畑山へと歩を速めた。天神山は倉岳・高畑山間の谷の合間にある小さい山なので休憩もそこそこにさっと通り過ぎ、高畑山山頂へ急いだ。この区間の傾斜は上り・下りともに存外厳しかったが、皆順調に登っていき、高畑山の山頂にはほぼ予定時刻に到着した。山頂では本間先生が周囲の山々の説明をしてくださった。また、豚汁のお返しにとゴディバのチョコレ

ートを学生たちに振舞ってくださった。高級チョコレートの甘さで疲れも吹っ飛んだところで、下山の途についた。再び薄暗い林道に入ると、気温がぐっと下がったようで歩いていても肌寒さを感じた。また、下山道ではところどころで倒木があり、道を塞いでしまっていたため通るのに難儀した。竹林を抜けて石仏まで下ると、林の合

間から鳥沢の街並みがちらちら覗くようになる。下山口が近づいている証拠だ。



山頂では綺麗な富士山が見えた



山頂での豚汁づくり



倉岳山山頂にて

下山口の直前には大きな貯水池があり、寒さのせいかな水面が一部凍っていた。日中はそれほどではなかったが、朝晩は相当冷え込むのだろう。下山口から再び舗道に出てしばらく歩くと、鳥沢駅に到着した。

総勢 12 名の大パーティーだったが一人として遅れる者もなく、下山後も余力たっぷりといった感じだった。登り足りないと感じた者もいたかもしれないが、快晴の空の下、頂上での雄大な富士の姿と豚汁の味には全員満足だったにちがいない。来年度も先生方の都合がつけば是非 OB 合同山行を行いたいと思う。



高畑山山頂にて



倒木が道を塞いでいる